

(様式1)

自己評価表

愛媛県立今治西高等学校定時制
学校番号 14

教育方針		重点目標			
知・徳・体の調和のとれた健全な心身の発達を目指し、個性豊かな人間の育成を期する。		1 温かい人間性と豊かな社会性を身に付けさせる。 2 高い知性と豊かな創造性を養う。 3 強い意志とたくましい体力を培う。			
領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	教科指導の充実	・生徒の実態に応じて分かりやすい授業を実践し、授業満足度・理解度を85%以上とする。 A : 85%以上 B : 84~82% C : 81%~79% D : 78~76% E : 75%以下 ・ICT機器を積極的に使用するなど授業改善を行う。	B	・生徒アンケート結果から、授業満足度は84%で昨年と同様であった。また、教材を工夫した授業の展開は92%という結果であった。しかし、授業の理解度に関しては74%にとどまる結果であった。これまでに以上に生徒一人一人に応じた学習支援の工夫や授業改善が必要である。 ・ICT機器による授業評価は82%で、昨年より高くなっている。	・生徒一人一人の学力を把握し、授業計画・学習支援の方法を工夫する。 ・生徒の習熟度に合わせた課題を工夫し、達成感や充実感を感じられる取り組みを実践する。 ・積極的にICT機器を利用し、情報の収集・処理・発信に関する実践力を養うよう研究する。
	新学習指導要領に対応した指導の改善	・学習の評価規準を有効に活用し、教員と生徒が自身の学びを改善できるようにする。(教員と生徒の意識差をなくす。) A : 0% B : 1~3% C : 4~6% D : 7~9% E : 10%以上	C	・教員アンケートから、教員の授業の工夫については80%、自主性を引き出す授業の工夫については76%。生徒の評価は教員の評価を上回り、分かりやすい授業の工夫については90%の評価であった。しかし、生徒の主体的な授業参加は84%であった。 ・教員の自己評価が向上するよう工夫・改善が必要である。	・アンケート結果や各単元の振り返りを分析して、授業改善を行っていく。生徒の授業に対する評価は昨年度に比べ向上しているため、今後も生徒にとって分かりやすい授業の工夫・主体性を育む工夫を行っていく。 ・学習の評価基準を踏まえ、適切な評価ができるよう研究に努める。
	個別学習指導の充実	・習熟度・進路希望に応じて0限を利用した個別指導を行う。	B	・2名の生徒が0限で学んでおり、基礎的な内容から応用的な内容まで、進路実現に応じた支援を行った。	・進路希望を踏まえたうえで、計画的・発展的に個別指導を行う。
生徒指導	規範意識と基本的生活習慣の確立	・年間出席率95%以上、皆勤率80%以上を目指す。 A : 95%以上 : 80%以上 B : 94~92% : 79~75% C : 91~89% : 74~70% D : 88~86% : 69~65% E : 85%以下 : 64%以下 ・保護者との連絡を確実に行う。	B	・1月までの出席率は90.4%、皆勤率は88.4%であった。皆勤率の目標は達成できたものの、出席率は達成できなかった。遅刻・欠席の多い生徒が固定化されているので、該当生徒に対するきめ細かい指導・支援が必要である。 ・欠席の多い生徒の保護者しは連絡を密にして、生徒の状況を把握し、家庭での様子を伺うなど、情報を共有しながら支援に努めている。	・ほとんどの生徒は問題なく登校できているが、一部の生徒に欠席や遅刻が集中しているため、生徒の心情に寄り添いながら登校を促したり、登校しやすい環境づくりに努める。 ・体調不良による欠席も増えつつあるので、体調管理や自己管理の必要性について指導する。 ・保護者との連絡を密にして、生徒の状況について十分把握し、学校での指導・支援を行っていく。
	交通安全意識の高揚	・登校指導を実施し、交通指導を行うことで交通事故0件を目指す。	C	・交通事故は2件発生した。いずれも同一生徒によるものだが、2件とも被害者の立場であった。	・交通指導をさらに徹底し、被害者にも加害者にもならないよう交通ルール順守について指導を行う。
	学業と就業の両立支援	・個別面接を年間6回以上行う。生徒の状況に応じて、個別に話す場を設定する。 A : 6回以上 B : 5回 C : 4回 D : 3回 E : 2回以下	A	・個別面接は概ね6回以上実施するなど、生徒理解に努めることができた。面接週間以外でも、担任を中心に気になる生徒には適宜声を掛け、面談を実施した。また、不登校傾向の生徒への支援の充実を図った。	・生徒への声掛けを常日頃から意識し、相談しやすい雰囲気を作る。 ・教育相談の知識・技術を身に付ける研修を行うなど、教員の力量のみに努める。
進路指導	学校行事・部活動の充実	・主な学校行事(運動会・県総体・文化部発表会等)の参加率90%以上を目指す。 A : 90%以上 B : 89%~80% C : 79%~70% D : 69%~60% E : 60%未満	A	・主な学校行事の参加率は92%であった。当日の体調不良等による欠席があったものの参加率は良好な結果となった。 ・運動会や県総体はコロナ禍以前の規模で実施することができ、生徒にとっても思い出に残る行事となった。	・運動会や文化部発表会以外の学校行事についても内容を吟味して、旧態依然としたものでなく、新しいものを取り入れるなど、魅力ある学校行事になるよう努める。 ・生徒の意見を柔軟に取り入れ、生徒主体の学校行事になるよう努める。
	進学指導の充実	・三修制を選択した生徒の進路指導を効果的に行う。 ・保護者との連携を密にする。	B	・個々の進路希望に応じた学習内容を検討し、支援を行った。0限授業と通信制の支援を効果的に行うことができた。	・進路希望に応じた学習支援をさらに充実させるよう、個々の進路希望を向き合いながら支援を行う。その際、保護者との連携についても充実させる。
	就職指導の充実	・関係機関との連携を密にし、情報発信を積極的に行う。	C	・進路担当を中心に情報の発信・提供を積極的に行った。しかし、関係機関との連携は効果的に実施できなかった。	・外部機関との連携を図り、キャリア教育の充実を目指す。外部講師による講話を取り入れるなど、就労意識の高揚を図る。
業務改善	職場環境の整備	・ワーク・ライフ・バランスの適正化を図り、休暇の取りやすい職場環境を整える。 A : 90%以上 B : 89~80% C : 79~70% D : 69~60% E : 60%未満	B	・テレワークを積極的に奨励し、仕事に取り組みやすい環境づくりを行った。また、年休や特別休暇などを取りやすい雰囲気づくりに努めた。 ・教職員の満足度は84%であった。	・引き続きワーク・ライフ・バランスの適正化を図りながら、心身ともに働きやすい環境整備に努める。

※ 評価は5段階(A:十分な成果があった B:かなりの成果があった C:一応の成果があった D:あまり成果がなかった E:成果がなかった)とする。